

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

|   |  |
|---|--|
| (宛先) 京 都 府 知 事  | 平成 24 年 7 月 31 日                                 |
| 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）<br>京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5 | 氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）<br>医療法人財団康生会<br>理事長 武田 隆司 |

|  |   |
|--|---|
| 環境マネジメントシステムの名称                        | 武田病院グループ環境マネジメントシステム  |
| 適用範囲                                   | 武田病院グループ  |
| 導入年月日                                  | 1997年 12月 18日   |
| 認証番号                                   |   |
| 基本方針                                   | 武田病院グループは、地球環境の保全を保健・医療・福祉及び関連活動の中で常に考慮し、地球にやさしい、心がかよう、心が安らく豊かな社会環境の実現に貢献します。また、関連する環境の法規・法令を遵守するとともに関連団体における環境理念等を尊重し、組織的継続的な改善と汚染予防を推進します。  |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 職員、関係者の定期的な環境教育・訓練を中心に活動を浸透させ、省エネルギー推進委員会を中心に省エネルギー教育、定期的なエネルギー消費量の確認を基に活動を推進し、将来的にエネルギーは再生可能なエネルギーの利用も視野に入れる。購買部、廃棄物処理管理委員会を中心に物品購入時の省資源活動と共に廃棄物の排出は4Rを推進し、ゼロエミッションを目指す。環境広報は機関紙をはじめ、ホームページ等で積極的に行う。   |
| 目標を達成するための取組の内容                        | EMS推進委員会を中心に定期的な環境教育・訓練として、グループ全体の勉強会での環境報告の実施、環境負荷の高いEOG、压力容器等の講習会への参加、地域連携として広域清掃への参加も行っている。省エネルギー推進委員会にエネルギー管理士を配置し、毎月のエネルギー使用状況を共有しながら省エネを推進している。また、国の省エネ事業を利用した高効率機器の導入やエネルギーの一元化等によりエネルギー利用の高効率化を図っている。物品購入時は環境購入を優先させ省資源活動と共に廃棄物の排出は計量と共に4Rを推進している。定期的な広報誌、ホームページにより環境活動を報告している。 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況                      | グループの各種勉強会での環境報告、環境、節電に関する講演会への参加、エネルギー推進委員会での節電対策、広報活動、省エネ推進のための主要な設備機器の運用改善等は実施できた。   |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価            | 職員に対する環境教育は、もう少し推進する必要がある。今年は医療福祉施設全体の節電・計画停電対応が主となり、蛍光灯の間引き、外気導入の空調機停止など、節電につながる省エネ活動は推進できた。   |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況                        | 環境法規管理規定と環境法規管理要領書・環境法規管理チェック表に基づいて管理を行っており、特に問題はない。  |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容                | 省エネ活動により数値的な成果は上がっている。また、環境方針の変更等によるマニュアル、規定の改定を実施したが、職員全体の積極的な環境活動につながらない。看護部を始めとする、防災・危機管理への取り組みは前進している。  |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。